【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【公表番号】特表2017-513909(P2017-513909A)
【公表日】平成29年6月1日(2017.6.1)
【年通号数】公開・登録公報2017-020
【出願番号】特願2016-564566(P2016-564566)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　8/19　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/98　(2006.01)
Ａ６１Ｑ　11/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　8/19
Ａ６１Ｋ　8/98
Ａ６１Ｑ　11/00

【手続補正書】
【提出日】平成30年5月1日(2018.5.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも９５％（ｗ／ｗ）の炭酸カルシウム含有量と６０μｍ～６１μｍの粒径とを有する粒子を有するコウイカ骨粉と、
適切な担体と
を含む口腔ケア組成物。
【請求項２】
前記炭酸カルシウム含有量が９５％～９９．９％である、請求項１に記載の口腔ケア組成物。
【請求項３】
前記コウイカ骨粉が０．１５～１．３０ｇ／Ｌの相対密度を有する、請求項１又は２に記載の口腔ケア組成物。
【請求項４】
前記コウイカ骨粉が０．２５～０．４５の空隙率を有する、請求項１～３のいずれか一項に記載の口腔ケア組成物。
【請求項５】
前記コウイカ骨粉が５時間～８時間の懸濁時間を有する、請求項１～４のいずれか一項に記載の口腔ケア組成物。
【請求項６】
前記コウイカ骨粉が、組成物の０．１００％～２０％（ｗ／ｗ）である、請求項１～５のいずれか一項に記載の口腔ケア組成物。
【請求項７】
（ａ）研磨剤、
（ｂ）増粘剤、
（ｃ）湿潤剤、
（ｄ）乳化剤、

（ｅ）界面活性剤、
（ｆ）ｐＨ調整剤、
（ｇ）溶媒、
（ｈ）抗菌剤、及び／又は、
（ｉ）保存剤
を更に含む、請求項１～６のいずれか一項に記載の口腔ケア組成物。
【請求項８】
前記研磨剤が、コロイド状カルシウム、コロイド状シリカ、ケイ酸、重炭酸ナトリウム（$NaHCO_3$）、水酸化アルミニウム（$Al(OH)_3$）、炭酸カルシウム（$CaCO_3$）、リン酸水素カルシウム二水和物（$CaHPO_4 \cdot 2H_2O$）、無水リン酸水素カルシウム、シリカ、ゼオライト、及びヒドロキシアパタイト（$Ca_5(PO_4)_3OH$）、又はその組み合わせである、請求項７に記載の口腔ケア組成物。
【請求項９】
前記研磨剤が、組成物の０．１００％～０．３２５％（ｗ／ｗ）である、請求項７又は８のいずれかに記載の口腔ケア組成物。
【請求項１０】
前記コロイド状シリカが、０．１００％～０．２７５％（ｗ／ｗ）である、請求項８に記載の口腔ケア組成物。
【請求項１１】
前記増粘剤が、海藻から得た天然ガム、非海洋性植物資源から得た天然ガム、細菌の発酵により産生された天然ガム、デンプン、ペクチン、カルボキシメチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、メチルセルロース、ゼラチン、又はその組み合わせである、請求項７に記載の口腔ケア組成物。
【請求項１２】
海藻から得た前記天然ガムが、寒天（Ｅ４０６）、アルギン酸（Ｅ４００）、アルギン酸ナトリウム（Ｅ４０１）、アルギン酸カリウム、アルギン酸アンモニウム、アルギン酸カルシウム、カラギーナン（Ｅ４０７）、又はその組み合わせから選択され、
非海洋性植物資源から得た前記天然ガムが、アカシアガム、アラビアガム（Ｅ４１４）、ガティガム、トラガカントガム（Ｅ４１３）、カラヤガム（Ｅ４１６）、グアーガム（Ｅ４１２）、ローカストビーンガム（Ｅ４１０）、β－グルカン、チクルガム、ダンマルガム、グルコマンナン（Ｅ４２５）、マスチックガム、サイリウムシードハスク、スプルースガム、タラガム（Ｅ４１７）、又はその組み合わせから選択され、及び
細菌の発酵によって産生された前記天然ガムが、ゲランガム（Ｅ４１８）、キサンタンガム（Ｅ４１５）、又はその組み合わせから選択される、請求項１１に記載の口腔ケア組成物。
【請求項１３】
前記増粘剤が、組成物の２％～６６％（ｗ／ｗ）である、請求項１１～１２のいずれか一項に記載の口腔ケア組成物。
【請求項１４】
前記湿潤剤が、プロピレングリコール、ヘキシレングリコール、ブチレングリコール、グリセリルトリアセテート、ネオアガロビオース、糖ポリオール、高分子ポリオール、キラヤ、乳酸、尿素、グリセリン、アロエベラゲル、ＭＰジオール、α－ヒドロキシ酸、ハチミツ又はグリセロールである、請求項７～１３のいずれか一項に記載の口腔ケア組成物。
【請求項１５】
組成物の２％～５％（ｗ／ｗ）の湿潤剤を含む、請求項７～１４のいずれか一項に記載の口腔ケア組成物。
【請求項１６】
組成物の４％（ｗ／ｗ）～１０％（ｗ／ｗ）の乳化剤を含む、請求項７～１５のいずれか一項に記載の口腔ケア組成物。

【請求項１７】
前記界面活性剤が、ラウリル硫酸ナトリウム、ラウリル硫酸アンモニウム、Ｎ－ラウリルサルコシンナトリウム、ラウリルスルホ酢酸ナトリウム、又はその組み合わせから選択される、請求項７～１６のいずれか一項に記載の口腔ケア組成物。
【請求項１８】
組成物の１％（ｗ／ｗ）～３％（ｗ／ｗ）の界面活性剤を含む、請求項７～１７のいずれか一項に記載の口腔ケア組成物。
【請求項１９】
前記溶媒が、水、エタノール、イソプロパノール、ソルビトール、又はグリセロールである、請求項７～１８のいずれか一項に記載の口腔ケア組成物。
【請求項２０】
組成物が少なくとも６０％（ｗ／ｗ）の溶媒を含む、請求項７～１９のいずれか一項に記載の口腔ケア組成物。
【請求項２１】
口腔衛生のための、請求項１～２０のいずれか一項に記載の口腔ケア組成物の使用。
【請求項２２】
ａ）コウイカの骨を粉砕して、粗いコウイカ骨粉を得るステップと、
ｂ）前記粗い骨粉をふるいにかけて、６０μｍ～６１μｍの粒径を有する第１のコウイカ骨粉を得るステップと、
ｃ）６０μｍ～６１μｍの粒径を有する前記第１のコウイカ骨粉をｐＨ４．５～５．５で、脱ミネラル化コウイカ骨粉を得るために十分な温度及び時間、軽度に脱ミネラル化するステップと、
ｄ）前記脱ミネラル化コウイカ骨粉を中性ｐＨに達するまで洗浄するステップと、
ｅ）前記脱ミネラル化コウイカ骨粉を乾燥させるステップと
を含む、コウイカ骨粉を調製する方法。
【請求項２３】
ａ）６０μｍ～６１μｍの粒径を有するコウイカ骨粉をｐＨ４．５～５．５で、脱ミネラル化コウイカ骨粉を得るために十分な温度及び時間、軽度に脱ミネラル化するステップを含む、コウイカ骨粉を調製する方法。
【請求項２４】
前記脱ミネラル化コウイカ骨粉を中性ｐＨに達するまで洗浄するステップｂ）を更に含む、請求項２３に記載の方法。
【請求項２５】
前記脱ミネラル化コウイカ骨粉を乾燥させるステップｃ）を更に含む、請求項２４に記載の方法。
【請求項２６】
前記軽度の脱ミネラル化が、塩化アンモニウム中で行われる、請求項２２～２５のいずれか１項に記載の方法。
【請求項２７】
塩化アンモニウムの濃度が、０．１Ｍ～１Ｍである、請求項２６に記載の方法。
【請求項２８】
前記軽度の脱ミネラル化が、ｐＨ４．５、４．９又は４．８６で行われる、請求項２２～２７のいずれか一項に記載の方法。
【請求項２９】
前記軽度の脱ミネラル化が、６５℃～７５℃の温度で行われる、請求項２２～２８のいずれか一項に記載の方法。
【請求項３０】
前記脱ミネラル化コウイカ骨粉を洗浄するステップが、蒸留水中で行われる、請求項２２及び２４～２９のいずれか一項に記載の方法。
【請求項３１】

前記脱ミネラル化コウイカ骨粉を乾燥させるステップが、２００℃～２２０℃で行われる、請求項２２及び２５～３０のいずれか一項に記載の方法。
【請求項３２】
前記脱ミネラル化コウイカ骨粉を乾燥させるステップが、３０分～６０分間行われる、請求項２２及び２５～３１のいずれか一項に記載の方法。